

時間割コード	G1D11821	開講年度	2026			
授業題目	クリティカル・リーディング（初級）				担当教員	足立 総世
英文授業名	Critical Reading					
単位数	1	講義期間 後期	曜日・時限	月曜・4 時限	対象学生	T（電電・情サ・情デ・機物・知機）《11》
講義室	共通教育 5 3 講義室		授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	大学DP					
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				大学での学修の土台となるAcademic Skillsを使えるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	Critical Reading に引き続き、様々なジャンルの英文（雑誌・新聞、文学作品、映像作品のスク립ト、討論、講義、講演等）の内容や意図を正確に把握し、分析・解釈・評価等を行うことにより、アカデミックな英文をクリティカルに読み解く姿勢を身につけていく。その際、クリティカルな読解力・思考力の育成に配慮した教材を用いて、分析、解釈、評価などのスキルが身につくよう工夫する。 （Critical Readingとは、単に文章を訳し理解する受動的な読解のことではなく、より積極的に文章の内容や意図を吟味し、分析・解釈・評価する読解のことを意味する。）					
(5)授業のキーワード	Critical Reading Critical Thinking					
(6)授業計画	第1週：Reading Test / オリエンテーション 第2週：Scanning for Dates (Unit 5) 第3週：Finding Examples (Unit 5) 第4週：Scanning for Information (Unit 5) 第5週：Scanning for Names (Unit 6) 第6週：Scanning for Keywords (Unit 6) 第7週：Skimming for Topics (Unit 6) 第8週：Scanning for Years (Unit 7) 第9週：Skimming for Information (Unit 7) 第10週：Scanning for Names (Unit 7) 第11週：Skimming to Understand Organization (Unit 8) 第12週：Scanning for Information (Unit 8) 第13週：Scanning for Names of Places (Unit 8) 第14週：読解の演習 第15週：読解の演習 第16週：期末試験・授業アンケート * 各回の教科書の該当ページなどの詳細はeALPSに掲載します。					
(7)成績評価の方法	・毎回の授業課題：50％ ・期末試験：50％					
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」とみなす。					
(9)事前事後学習の内容	・この授業は1単位のため、15時間以上の授業時間外学習を必要とします。 ・必ず予習をして授業に出席する。また授業時間内外の課題を締切までに提出する。					
(10)履修上の注意	グループワークをスムーズに行うため、必ず予習した上で授業に参加すること。ノートPCまたはタブレットを持参する。					
(11)質問、相談への対応	質問・疑問は授業中にクラスで共有されることが望ましいが、個別の質問や相談を希望の場合は、授業前後または以下のメールアドレスへの質問・相談を受け付ける。 m_adachi@shinshu-u.ac.jp					
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外（評点は0点）となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。					

(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	Patricia Ackert他, Reading and Vocabulary Development 2 -Thoughts and Notions, Fourth Edition, 978-981-48-9657-3, Cengage, 2024年, 3840円
【参考書】	指定しない